

第27期第9回東大和市立公民館運営審議会 会議要録

- 1 日時 令和6年7月18日(木) 午後2時～4時
- 2 場所 東大和市立中央公民館 視聴覚室
- 3 委員 (出席者)佐々木会長、増本副会長、津嶋委員、若野委員、新井委員、橋本委員、岡田委員
(欠席者)吉村委員、大島委員、浜田委員、相澤委員、豊田委員
- 4 事務局 (出席者)伊藤中央公民館長、内藤南街公民館長、森田狭山公民館長、宮田蔵敷公民館長
西田上北台公民館長、木下主任

5 傍聴者 1人

6 次第 (1)審議事項

①諮問・答申について

(2)報告事項

①東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会定例会報告について

(3)その他

7 会議資料

- ・第27期第9回次第
- ・諮問に対する話合い 6月27日第1回
- ・会長諮問について
- ・研修参加報告書(令和6年度第2回東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会)
- ・ほいくしつ通信
- ・上北台・保育室体験講座

8 議事要旨

(1)審議事項

①諮問・答申について

会長から、前回の会議で出された意見を「Wi-Fi」と「子どもの居場所づくり」の2軸で整理した資料を提示し、論点を明確化した。

今後の進め方として、上記2つのテーマについてグループに分かれて議論を深めることを提案した。

【子どもの居場所づくり】

・会長から、20年以上の実績がある「夏休み☆みんなでつくる遊空間」の歴史的経緯(元々は本審議会の提言から始まったこと)を説明し、原点に立ち返り、本審議会が企画・運営に積極的に関わることで、「子どもの居場所づくり」を具現化できるのではないかと強く提案した。

・各委員からは、「遊空間」を核とする考えに賛同する意見が相次いだ。

・一方で、利用者視点で「人気イベントは抽選に外れると参加できない、自習等で利用できるフリースペースの存在が周知されていない」という課題が提起された。

事務局からは、「遊空間」の申込方法をオンライン化したことで、新規参加者の増加や職員の負担軽減に繋がった成功事例が報告され、フリースペースの周知不足は今後の課題として認識された。

【Wi-Fiを活用した事業展開】

・「前回の答申で提言したデジタル化推進が市側でどう受け止められているか、感触が不明なままでは議論が進めにくい」との懸念が示された。

事務局からは、「前回の答申が強力な後押しとなり、市の計画策定や予算化に繋がった」と経緯を説明し、整備が完了した今、その Wi-Fi をどう「事業展開」していくかの具体的なアイデアを審議会に求めていると回答した。

- ・「Wi-Fi があるのは当然」という利用者感覚を述べ、大々的な事業展開の前に、まずは利用ルールの整備と周知徹底が先決ではないかとの意見が出された。

(審議の結果)

答申策定に向け、以下の 2 グループに分かれて具体的な検討を進めることを決定した。

・A グループ(Wi-Fi 活用)

利用規約やルールの整備、周知方法の確立を優先し、セキュリティや他施設との整合性を考慮する。

・B グループ(子どもの居場所づくり)

「遊空間」を核としつつ、各館の特性を活かした日常的・継続的な居場所づくりの方策(学習支援、土日開催イベント等)を検討する。

次回の会議までに、各グループで具体案の検討を進めることとなった。

(2)報告事項

①東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会定例会報告について

東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会の定例会(6月27日開催)について報告があった。

- ・東京都公民館連絡協議会の動向について、加盟市減少(現在9市)が課題となっており、持続可能な運営と担当市の負担軽減が検討されている。

- ・各市の動向について、施設改修(昭島市、狛江市)、ヤングアダルト層の活動支援(小金井市)、「公民館まつり」の開催(国分寺市、福生市)など、各市の活発な取り組みが紹介された。特に西東京市では、市の講座として「遊空間」に類似した「夏休み子ども向け講座」が実施されている事例が共有された。

(3)その他

委員より以下の情報共有と依頼があった。

- ・南街公民館の活動周知について、工事中の南街公民館の利用者連絡会が活動継続中であることを知らせるため、来年3月開催の「展示・発表会」ポスターの各館への掲示を依頼された。

- ・市の広報に関する訂正について、工事中の南街公民館が市の「ひと涼みステーション」として誤って案内されている件について、既に対応済みであることを共有された。

- ・公民館グルメ企画の周知について、50周年記念事業としての企画のポスターが掲示されていることを案内された。

次回会議予定: 令和6年9月26日(木) 午後2時～ 中央公民館 視聴覚室